



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月4日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東
コード番号 3690 URL <https://www.yrglm.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員CEO (氏名) 岩田 進
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CAO (氏名) 栢木 秀樹 TEL 06(4795)7500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,636	33.2	161	19.9	165	22.6	107	81.1
2024年9月期第3四半期	2,729	0.7	134	△48.4	134	△50.1	59	△62.7

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 74百万円 (16.5%) 2024年9月期第3四半期 64百万円 (△62.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	17.33	—
2024年9月期第3四半期	9.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,361	1,932	56.8
2024年9月期	3,524	1,934	53.3

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 1,908百万円 2024年9月期 1,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	7.80	7.80
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	7.90	7.90

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めております。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	32.0	200	21.6	190	17.2	100	45.4	16.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	6,372,415株	2024年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	171,535株	2024年9月期	210,135株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	6,183,013株	2024年9月期3Q	6,172,995株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境に改善が見られ、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方で、不安定な国際情勢を背景とした原材料価格・エネルギー価格の高騰や急激な為替変動等による景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場については、社会のデジタル化を背景に2024年のインターネット広告費は前年比109.6%の3兆6,517億円（株式会社電通「2024年日本の広告費」）と継続的に高い成長率を維持しており、総広告費に占める割合も47.6%まで拡大しております。

また、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場については、2023年国内BtoC-EC市場規模は前年比109.2%の24.8兆円となりました。分野別では、物販系分野に関して前年比104.8%と伸長しており、物販系分野におけるEC化率についてもBtoC-ECで9.4%（前年比0.3ポイント増）と伸長しております。BtoB-EC市場におけるEC化も40.0%（前年比2.5ポイント増）と増加傾向にあり（いずれも経済産業省「令和5年度電子商取引に関する市場調査報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しております。

このような事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っております。当第3四半期連結累計期間においては、マーケティングDX支援、コマース支援事業、両セグメントの売上高増加により増収となり、売上高3,636,314千円（前年同期比33.2%増）、営業利益161,549千円（前年同期比19.9%増）、経常利益165,091千円（前年同期比22.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益107,126千円（前年同期比81.1%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりとなりました。

（マーケティングDX支援事業）

当事業は、インターネットにおける消費者行動を横断的に測定し、マーケティングに活用するためのクラウドサービス等を提供する事業であります。当事業では、2024年9月期を開始年度とする中期経営方針「VISION2027」の戦略として、広告効果測定におけるクロスセルを強化し、新たなSaaSの提供開始・人的支援サービスの強化後、これら3つを掛け合わせたクロスセルを強化し、2027年9月期までに過去最高件数を更新することを目指しております。提供しているサービスは広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」を主力サービスとし、分析レポート自動作成サービス「アドレポ」を提供する広告代理店向けプラットフォームビジネスやインキュベーション領域として新サービスの開発にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、中期経営計画「VISION2027」の戦略の一つである新たなSaaSの提供開始として、2025年5月に国内初のマーケティング・キャンペーン・マネジメント・プラットフォーム「アドエビスキャンペーンマネージャー」の正式版の提供を開始いたしました。長年「アドエビス」を提供する中で見えてきた「マーケティング施策の効果改善サイクルを回したい」という顧客課題を、マーケティング施策のPDCAを構造化・効率化することや、過去施策を学習した生成AIによって次回施策の改善提案を提示すること等によって解決を図ってまいります。これにより、当事業の支援範囲を広告効果測定領域からマーケティングプロセス全体へ拡大いたしました。また、2025年6月に広告効果測定プラットフォーム「アドエビス」に搭載されている「媒体シンク機能」において、新たにMicrosoft広告との連携を開始いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,192,215千円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は210,916千円（前年同期比79.0%増）となりました。前年同期との比較においてはインキュベーション領域の売上高が伸長したこと等により、増収増益となりました。また、「Growth Step Program」や「CAPiCO」を軸として契約件数の増加に取り組んだ結果、契約件数については前連結会計年度末から増加となっております。

（コマース支援事業）

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」及びEC構築・運用フェーズを軸として、集客・物流に至るまで、EC事業者が直面する課題に対して支援サービスを提供する事業であります。

オープンプラットフォーム「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者から決済手数料収入を得るというエコシステムを構築しております。

一方、EC構築領域においては大規模ECサイトを中心としたEC構築を行うとともに、「EC-CUBE Enterprise」として大規模ECサイトに必要とされる高アクセスに耐えるインフラ基盤・モール型EC・多言語対応等の機能をパッケージとして用意し、コストパフォーマンスに優れた高可用性システムとして大型案件の獲得に取り組んでおります。また、EC運用支援領域においては、第1四半期連結会計期間より連結対象となったルビー・グループ株式会社において、ECサイトの運用支援事業やフルフィルメントサービスの提供を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、EC構築領域では、引き続き大規模EC構築案件の受注獲得に注力しながら、開発内製化の拡大を含む開発体制拡充に取り組んでまいりました。営業面においては新規獲得や既存顧客からの追加受注等の事業進捗があった一方で、体制拡充に伴う採用費等の経費が先行する状況にあります。また、第1四半期連結会計期間から新たに連結対象となったルビー・グループ株式会社においては、経営管理体制の見直し等による収益改善等に着手しており、その成果が少しずつ現れてきている状況であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,449,474千円（前年同期比147.9%増）、セグメント損失は49,367千円（前年同期は24,007千円のセグメント利益）となりました。EC構築事業の増収により売上が伸長したことにより当第3四半期連結会計期間においては営業黒字へと転じているものの、EC構築事業に係る外注費の増加、営業・開発・管理体制の拡充及びのれん償却費増加等による上期の損失を吸収するには至らず、当第3四半期連結累計期間において、セグメント損益については営業損失となりました。なお、新規EC構築案件の受注に注力したことにより、受注高は435,450千円（前年同期比41.9%増）となり、受注残高は176,107千円（前年同期末比80.4%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,218,921千円となり、前連結会計年度末に比べ21,252千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が75,309千円増加したことや前払費用が21,325千円増加した一方、未収入金が148,672千円減少したこと等によるものであります。

また、固定資産は1,142,965千円となり、前連結会計年度末に比べ141,307千円減少いたしました。これは主に償却によりのれんが88,317千円減少したことや繰延税金資産が13,378千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,361,886千円となり、前連結会計年度末に比べ162,559千円減少いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,018,896千円となり、前連結会計年度末に比べ103,945千円減少いたしました。これは主に買掛金が63,341千円増加したことや、未払金が137,633千円、約定返済により1年内返済予定の長期借入金が86,217千円それぞれ減少したことによるものであります。

また、固定負債は410,207千円となり、前連結会計年度末に比べ56,409千円減少いたしました。これは約定返済により長期借入金が56,409千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,429,104千円となり、前連結会計年度末に比べ160,354千円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,932,782千円となり、前連結会計年度末に比べ2,204千円減少いたしました。これは主に連結子会社の株式を追加取得したことにより資本剰余金が45,756千円減少したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益107,126千円及び剰余金の配当48,065千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は56.8%（前連結会計年度末は53.3%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年1月17日の「2025年9月期通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,096	1,418,461
受取手形及び売掛金	465,899	541,209
契約資産	59,732	77,121
仕掛品	10,621	3,498
前払費用	126,343	147,669
未収入金	163,136	14,463
その他	10,937	19,127
貸倒引当金	△3,593	△2,629
流動資産合計	2,240,174	2,218,921
固定資産		
有形固定資産		
建物	105,530	106,890
減価償却累計額	△69,027	△74,132
建物(純額)	36,503	32,757
工具、器具及び備品	288,500	290,357
減価償却累計額	△239,879	△247,120
工具、器具及び備品(純額)	48,620	43,236
有形固定資産合計	85,123	75,994
無形固定資産		
のれん	430,254	341,936
ソフトウェア	424,993	417,924
ソフトウェア仮勘定	37,793	24,794
その他	13,617	12,245
無形固定資産合計	906,658	796,901
投資その他の資産		
投資有価証券	56,828	54,093
長期前払費用	77,121	69,227
繰延税金資産	39,182	25,803
差入保証金	118,762	120,313
その他	3,052	2,316
貸倒引当金	△2,457	△1,684
投資その他の資産合計	292,489	270,068
固定資産合計	1,284,272	1,142,965
資産合計	3,524,446	3,361,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	38,325	101,666
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	165,326	79,109
未払金	445,276	307,643
未払法人税等	40,301	41,267
預り金	60,004	91,899
契約負債	88,042	114,007
賞与引当金	27,009	32,796
受注損失引当金	408	—
株主優待引当金	8,119	—
その他	29	506
流動負債合計	1,122,842	1,018,896
固定負債		
長期借入金	429,005	372,596
資産除去債務	37,611	37,611
固定負債合計	466,616	410,207
負債合計	1,589,459	1,429,104
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	400,144	354,387
利益剰余金	1,304,566	1,355,184
自己株式	△160,827	△130,275
株主資本合計	1,861,949	1,897,362
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	15,064	11,197
その他の包括利益累計額合計	15,064	11,197
非支配株主持分	57,972	24,221
純資産合計	1,934,987	1,932,782
負債純資産合計	3,524,446	3,361,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	2,729,720	3,636,314
売上原価	1,141,746	1,761,969
売上総利益	1,587,974	1,874,344
販売費及び一般管理費	1,453,254	1,712,794
営業利益	134,719	161,549
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,776	4,268
持分法による投資利益	2,329	2,198
還付消費税等	—	13,276
開発支援金	—	3,373
その他	378	2,453
営業外収益合計	10,484	25,570
営業外費用		
支払利息	2,648	5,611
為替差損	1,239	3
上場関連費用	—	4,110
投資有価証券評価損	3,486	4,934
長期前払費用償却	2,658	284
固定資産除却損	—	6,998
その他	484	87
営業外費用合計	10,518	22,028
経常利益	134,686	165,091
特別損失		
減損損失	2,779	2,649
特別損失合計	2,779	2,649
税金等調整前四半期純利益	131,907	162,442
法人税、住民税及び事業税	46,340	70,350
法人税等調整額	24,991	13,378
法人税等合計	71,332	83,729
四半期純利益	60,574	78,712
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,429	△28,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,144	107,126

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	60,574	78,712
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,792	△3,721
その他の包括利益合計	3,792	△3,721
四半期包括利益	64,366	74,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,937	103,259
非支配株主に係る四半期包括利益	1,429	△28,267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 子会社株式の追加取得

当社は、2024年12月25日付で、連結子会社である株式会社トピカの株式を追加取得いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が45,756千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が354,387千円となっております。

(2) 自己株式の処分

2025年1月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式を40,200株処分いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が8,442千円減少し、自己株式が30,552千円減少しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	129,176千円	142,744千円
のれんの償却額	91,668千円	82,825千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,144,955	584,764	2,729,720	—	2,729,720
その他の利益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,144,955	584,764	2,729,720	—	2,729,720
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,640	—	2,640	△2,640	—
計	2,147,596	584,764	2,732,360	△2,640	2,729,720
セグメント利益	117,835	24,007	141,843	△7,123	134,719

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去10,381千円及びのれん償却額△3,258千円であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	マーケティング DX支援事業	コマース 支援事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,188,072	1,448,241	3,636,314	—	3,636,314
その他の利益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,188,072	1,448,241	3,636,314	—	3,636,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,143	1,233	5,376	△5,376	—
計	2,192,215	1,449,474	3,641,690	△5,376	3,636,314
セグメント利益又は損失(△)	210,916	△49,367	161,549	—	161,549

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「コマース支援事業」において、株式会社イーキューブの東京本社移転が決定したことにより、当該事務所に係る資産について減損処理を行い、減損損失2,649千円を計上しております。